

様式第2号

視察研修先	独立行政法人国立病院機構 四国こどもとおとなの医療 センター	氏名	沖津 一博
視察研修項目	ホスピタルアートの取り組みについて		
<p>感想・所見など</p> <p>ホスピタルアートを導入するということは、倫理的かつ合理的に組織された病院内に創造的で柔軟な問題解決の場（自由に発言できる原っぱ）を作るという事です。外部から新しい視点を導入しつつ、医療スタッフや患者との対話を通じ共に医療環境を創造していこうとする取り組みです。患者さんの心が少しでも安らぐようにという院長や医療スタッフの思いを壁画という形にしたものです。アーティストやボランティアの協力を得ながら、医療スタッフが祈りを込めて描きました。沢山の患者さんも参加してくれました。</p> <p>この病院を視察した感想は、まず病院についてすぐの、心がわくわくするような楽しみに溢れた外見を見ただけですばらしい病院だなと感じました。中に入るとさまざまなアートが壁に描いてあり、この様な病院を利用できる患者さんは幸せだなと感じました。</p> <p>また、この事業に携わった担当の女性職員さんもすばらしい方で、この様な方がいたからこそ出来たのではないかと感じました。</p>			

様式第2号

視察研修先	香川県高松市議会	氏名	沖津 一博
視察研修項目	高松市立みんなの病院(再編・ネットワーク化)について		
<p>感想・所見など</p> <p>高松市の概要 人口は約 417,000 人、面積は 375,53 km<sup>2</sup></p> <p>高松市立病院基本理念は「生きる力を応援します」</p> <p>基本方針として「1、『リーディングホスピタル』として、高松市医療全体の最適化を目指します。」「2、『安全で良質な医療』をファインチームワークで提供します。」「3、『まごころのある医療人』を全力で育成します。」「4、『地域とのつながり』を大切にし、みんなの暮らしを支えます。」</p> <p>特に力を入れているのが、がん医療や災害や感染症に対する医療、救急医療、地域包括ケアなどの後方支援機能の強化。院内保育所どんぐりを設置し、職員が安心して働けるよう子育てと仕事の両立を支援。保育所は明るく木の温もりが感じました。丁寧に接し子どもが心身の健やかな育成を最もふさわしい生活が出来る場を提供しています。</p> <p>今、地方自治体病院は厳しい状況が続いており、寒河江市立病院も今後どの様な形が良いのか、課題は大きいが今後避けては通れない課題であり、政治判断が必要と思います。</p>			

様式第2号

視察研修先	愛媛県四国中央市議会	氏名	沖津 一博
視察研修項目	四国中央市子ども若者発達支援センターについて		
<p>感想・所見など</p> <p>尊重し合う共生社会を目指した、パレット・プランは、「だれかと話すことで気分が楽になる事もあります。悩んだとき、困ったとき私たちと話してみませんか。これからの事を一緒に考えていきましょう。」という誰でもが気軽に相談できる取り組みで、施設も充実した所でありました。</p> <p>内容は「発達障害、ひきこもり、子育て、不登校、就労、こども・若者育成支援推進法に基づく子ども・若者総合相談センターです。子どもの発達に関する相談をはじめ、こども若者のさまざまな相談に対し関係機関との協力のもと答えていきます。」というものであります。</p> <p>パレットでできること…電話相談、来所相談、巡回相談、発達検査、児童発達支援、保育所等訪問支援、障害児相談支援、放課後等デイサービスなど</p> <p>パレット・プランはさまざまな個性や特性が尊重され、皆が安心して共に暮らせる地域社会を実現するために必要なことを考えた計画のひとつです。障害の有無にかかわらず、それぞれが有する特性により社会生活を送る上で必要な取り組みで有りました。</p>			